

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	02	124040	広報活動事業費	
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営	
	施策	03	わかりやすい市政情報の提供			
目的	市民に市政の状況を理解してもらうため、各種広報媒体を効果的に活用して情報を発信する					
対象	市民					
意図	市の施策や事業、情報を知ってもらう					
事業概要	広報紙等の発行...市の施策や事業、情報を伝える「広報はなまき」「花巻市暮らしのガイド」の発行 26,793千円 FM番組の制作...市の施策や事業、情報を伝えるコミュニティFM番組の制作 19,435千円 映像データの作成...市のイベント等をニュース映像で保存するとともにケーブルテレビで放送 2,296千円 ホームページ等の活用...ホームページ・ツイッター・フェイスブックなどによる市政情報の発信 12,464千円 有線放送...市の施策や事業、情報を伝える有線放送の運営業務委託と放送施設の更新、保守管理 28,982千円					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	広報はなまき発行部数	部	計画	35,900.00	36,100.00	
			実績	35,980.00	36,130.00	
2	有線による放送件数	件	計画	650.00	650.00	
			実績	616.00	595.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	広報など市から提供される情報がわかりやすいと思う市民の割合	%	目標	70.00	70.00	
			実績	65.90	66.20	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
概ね目標値どおりの実績値であり、市からの情報提供がタイムリーでわかりやすいと感じた人の割合が前年度よりも高くなった。今後においても、広報紙やホームページ、SNS、コミュニティFMなどを活用した積極的な情報発信を行う。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市と市民が情報を共有するためには市からの情報発信が不可欠である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	分かりやすい情報を発信することにより市民の興味を引き付け、読む・聴くといった行動を更に促す。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	情報発信を目的とした印刷物を広報紙に集約しているため、広報ページ数の削減は困難である。外部委託等で人件費の削減に努めており、また、その委託費についても適正なものであり、削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民に広く情報が伝えられている。 また、有線放送については、広告放送の手数料の見直しを行っており、また、加入、故障時には応分の負担金を徴収している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	広報紙やコミュニティFM、ケーブルテレビといった複数の伝達手段により市から発信する情報を分かりやすくタイムリーに市民に伝えることができた。
	次年度に向けて	昨年度に引き続き、広報紙やコミュニティFM、ケーブルテレビといった複数の伝達手段により市政情報を発信する。

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	06	124390	花日和発行事業費	
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営	
	施策	03	わかりやすい市政情報の提供			
目的	首都圏在住者等を中心に市民にも花巻をよりよく知ってもらうため、花巻の食、技、文化などの情報を発信する。					
対象	首都圏在住者等					
意図	本市に関心を持ってもらい、訪れてもらう					
事業概要	「花日和」の発行 花巻市ブランドデザイン情報誌「花日和」（首都圏や市内に配置）の発行...8,512千円					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	「花日和」発行部数	部	計画	24,000.00	24,000.00	
			実績	24,000.00	24,000.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	「花日和」読者アンケート回答者数	人	目標	180.00	180.00	
			実績	166.00	122.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
花日和は花巻の観光情報誌として首都圏を中心に全国配布しているところであるが、アンケート回収率が1%に満たない結果となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	多くの人に花巻の魅力を知ってもらうための情報発信は、市として主体的に取り組む必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	花巻信用金庫との連携により東京方面等の信用金庫に配布する等、よく人目に付く場所に置く等の見直しを行った。引き続き、読者の新規開拓を図る必要がる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	人件費、事業費ともに事業実施に最低限必要な経費を計上しており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	花巻のブランド力を高めることは市全体の受益となる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	花巻ならではの特集記事を組むことにより、他にはない魅力のあるまちであることをアピールすることができた。
	次年度に向けて	近年は「まきまき花巻」などのサイト運営の開始や民間による花巻を紹介する冊子が発行されるなど、花日和発行開始時にはなかった花巻をPRする取り組みが行われているため、令和元年度をもって廃刊とした。